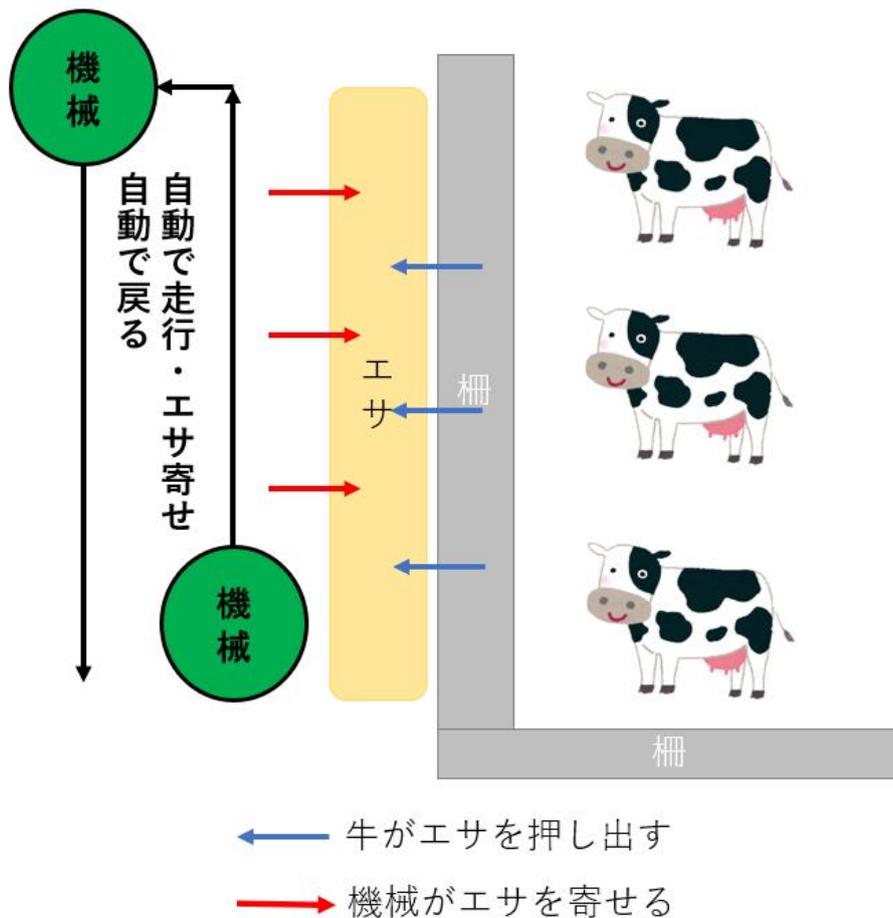


自動エサ寄せ機

■ 概要

採食時、牛が自らエサを飼槽から離れた場所に押し出してしまうため、従来は人の手で1日に数回行っていたエサ寄せを、時間・ルートを設定する、または離れた位置から指示を出すことで、機械が自動でエサ寄せを行う。



■ 期待できる効果

- ・ 牛の採食頻度を上げることができ、平均的な乳量の増加・残飼の削減。
- ・ 従業員の負担軽減。

■ 課題・留意点

- ・ 牛舎によっては設定等の準備が必要になる等、事前の検討が必須。

使用者の声

那須町 今 知成 さん

乳牛 170 頭

〔導入機器〕 MOOV PRO (オリオン機械株式会社)

北海道の農場を視察した際に機器の存在を言った今さんは、メーカーからの勧めもあり、省力化のため平成 30 年に導入を決めた。

同機器は牛舎の床に埋め込まれたセンサーを用いて位置を把握し、設定された時間になると、決められたルートを通って自動でエサ寄せを行う。牛舎内に機械用の小屋を作る必要があったが、自動で小屋に戻り、設置した充電器で充電するため、停止する心配がない。また、安全のためにエサ以外の物に当たった場合は停止するようになっているため、安全面でも安心して使用出来ている。

「従来は 1 日に 5 回ほど人手で行っていたエサ寄せが不要になり、他の作業ができるようになった。また、夜間でもエサ寄せができることで給餌量が上がリ、体感として乳量が増加しているように感じられる」と今さんは話す。

坂道や砂利道を通過できないため、離れた牛舎までは使用できないが、導入するメリットは十分ぶあると今さんは感じている。



(写真) エサ寄せを行う機械。給餌中でも安心してエサ寄せができる。牛も機械に慣れているため、気にせず採食を続ける。